

グッとくる山陰

【特集】

【日本三大船神事】松江城山稲荷神社 式年神幸祭

10年に一度の祭事

ホーラン エンヤ

2019 春
Spring
ご自由にお持ち帰りください

【山陰の逸品】

誠実な水の都のすぐれもの

【グッとくるコラム】

松江観光をより楽しくいいものに。

西尾 俊也（山陰いいもの探果隊 隊員）

松江観光を
より楽しく
いいものに。

今年の松江のトピックは、何といってもホーランエンヤでしょう。大橋川を進む稲伝馬船上で繰り広げられる10年に一度の大総巻は必見です。

このホーランエンヤの歴史や伝統を紹介するのが「松江ホーランエンヤ伝承館」です。過去の練習風景や本番での勇壮な姿を映像で振り返るほか、稲伝馬船を出す五地域（五大地）の様子が分かる展示や踊りで使う歌舞伎衣装を着ての写真撮影もできます。ホーランエンヤを見物する前、或いはそのあとも興味深いものがあります。

そして、松江観光の最初に立ち寄っていただきたいのが、隣接する「松江歴史館」です。国宝 松江城の近く、その昔は家老屋敷があった場所に長屋門などを復原し、2011年に開館しました。

本館は純和風の趣ある施設で、江戸時代に使われ、今では珍しくなった逆「へ」の字形の左棧瓦を使用、その数は約6万枚に上り、独特な雰囲気を感じ出しています。基本展示室では、松江開府の祖・堀尾吉晴の時代から京極1代、松平10代にわたる歴史を映像と展示で分かりやすく紹介しており、松江の歴史が詰まっています。

フリースペースにある喫茶「きはる」では、現代の名工・伊丹二夫さんが目の前で作る季節の創作和菓子と抹茶で一服。日本庭園を眺めながら、旅の疲れも癒されます。

さて、ここでクイズです。「きはる」の語源は何でしょうか。ヒントは松江市の花のひとつ「椿」に由来しています。もうお分かりですね。そうです「木」と「春」です。ぜひ、両館にお越しいただき、松江観光をより楽しいものにしていただければと思います。



山陰いいもの探果隊 隊員
西尾 俊也
にしお としや

松江歴史館 支配人
鳥根県松江市出身
昭和50年4月 山陰中央新報社入社、平成24年10月（公財）しまね文化振興財団採用、平成25年4月 鳥根県民会館館長。趣味は映画鑑賞とお酒。山陰の隠れた魅力発信に興味津々。まずは自分が楽しむことから始めます。



【松江歴史館】鳥根県松江市殿町279 アクセス：JR松江駅からタクシーで7分、あるいは、バスで約10分 お問い合わせ TEL.0852-32-1607

【ホーランエンヤ伝承館】鳥根県松江市殿町250 アクセス：JR松江駅からタクシーで10分、あるいは、バスで約13分 お問い合わせ TEL.0852-32-1607

山陰 いいもの セレクト

SANIN GOOD SELECTION
Produced by
山陰いいもの探果隊

因幡編・出雲編

山陰いいもの探果隊がプロデュースするオリジナルブランド、山陰いいものセレクト。日本酒フリークも注目する山陰の銘酒を4本セットにした「山陰銘酒めぐり 因幡編・出雲編」。

日本酒4本入り（内容量 各100ml）各1,800円
詳しくはWEBで

[山陰いいもの](#) [検索](#)

【取り扱い店舗】●おみやげ楽市 鳥取店 鳥取県鳥取市東品治町111-1 JR鳥取駅構内 TEL.0857-26-6917 ●おみやげ楽市 米子店 鳥取県米子市弥生町15・16 JR米子駅前広場 TEL.0859-31-6630
●おみやげ楽市 松江シャミネ店 鳥根県松江市朝日町字伊勢宮472-2 JR松江駅構内 TEL.0852-26-1539 ●セブン-イレブン ハートインJR出雲市駅店 鳥根県出雲市駅北町11 JR出雲市駅構内 TEL.0853-25-0696
※セブン-イレブン ハートインJR出雲市駅店は出雲編のみの販売になります。



山陰を走る観光列車「あめつち」

運行区間：山陰本線【鳥取～出雲市】

運転時刻【下り】鳥取 → 出雲市						運転時刻【上り】出雲市 → 鳥取						
鳥取	倉吉	米子	安来	松江	出雲市	出雲市	玉造温泉	松江	安来	米子	倉吉	鳥取
9:00発	9:45発	11:06発	11:16発	11:45発	12:47着	13:41発	14:26発	14:43発	15:22発	15:35発	16:36発	17:36着

- 土日を中心に、鳥取～出雲市間を1日1往復運転します。
- ご利用料金の例（大人お一人様・運賃・料金合計）：
【鳥取～出雲市】4,540円、【鳥取～米子】2,640円、【米子～出雲市】2,120円、【松江～出雲市】1,350円
- 乗車券の他に普通列車の指定席グリーン券が必要です。（全車指定席）

運転日、お食事のお申し込み方法など詳しくは [観光列車の旅時間](#) [検索](#)



グッとくる山陰 春号

発行元／JR西日本米子支社 鳥取県米子市弥生町2
☎0859-32-0255 *記載の情報は、2019年3月1日時点のものです。



あなたの知らない山陰、更新中。

[山陰いいもの](#) [検索](#) 右記コードからサイトへGO! →





「日本三大船神事」松江城山稲荷神社 式年神幸祭

10年に一度の祭事

ホーランエンヤ

2019年5月18日(土)を皮切りに、9日間にわたる松江城山稲荷神社の式年神幸祭がスタートします。10年に一度行われるこの神事は

一般に「ホーランエンヤ」の俗称で呼ばれる日本三大船神事のひとつ。

城山稲荷神社の御神霊をお乗せした船を中心に、先導・お供・護衛などの役割を与えられた

100隻を超える大船団が

大橋川を連なる光景は、まさに時代絵巻さながら。

今年で370年の歴史を誇る神事の発祥と、

絢爛でいてどこか突飛な様式が生まれた経緯を、

ここでおさらいしようと思います。

キーマンは 神通力の持ち主 松岡兵庫頭

先ず、ホーランエンヤを語るには、松江城築城のときにまでさかのぼる必要があります。

それは築城開始から1年後の慶長13年(1608)のこと、本丸の石垣を築きますが、なぜか何度も崩壊。人夫のなかには怪我をするもの、ものけに襲われるものまで続出したのです。そんなとき、出雲郷という村にある菅高神社(現・阿太加夜神社)に、八卦をよく見るといふ神主・松岡兵庫頭がいるとの評判が伝わり、祈禱を依頼することになりました。こうして、兵庫頭によって二夜三日の祈禱が行われ、崩壊の原因は「荒神と首の祟り」であることが判明。現地を掘ると、出てきたのは戦国時代の刀や人間の首だったのです。それらは丁重に掘り起こされて、手厚く葬られました。以来、兵庫頭は松江城の神主職を兼ねることになったのです。もちろん、石垣は二度と崩壊することなく、慶長16年(1611)、松江城はみごとに完成しています。

そして時代は寛永15年(1638)、松平直政公がお国入り。かねて稲荷を崇敬していた新しい城主は、城内に本殿を建てさせて、兵庫頭を兼務させたのでした。

ホーランエンヤ―― 不思議な 響きの誕生秘話

直政公が松江城主となって10年目の慶安元年(1648)、領地では天候不順が続き、凶作が予想されました。こうした事態に心を痛めた城主は、実績のある兵庫頭を頼り、大祈禱が行われることになりました。



その内容は、城山稲荷神社の御神霊を乗せた神輿を、兵庫頭の本務社である阿太加夜神社まで船で運び、安定した天候と五穀豊穡の大祈禱を行って、その後、城山稲荷にお戻りいただくというもの。神前には数々の供物が捧げられ、行われたお祝いは1万度。この神事は、17日間にもおよんだと伝わります。

こうして、大祈禱はみごとに成就。以来、10年に一度の式年神幸が行われるようになりました。式年とは一定の決められた期間のことを、神幸とは神様がにお出かけになることを意味します。時代背景から、12年あるいは16年の間隔となったケースもありましたが、現在は、当初の10年ごとに定められています。

そして、いつの頃からかこの神事は、船の權をこぐ際の掛け合い言葉「ソロー」「エンヤ」が「ホーラ」「エーヤ」になり、やがて「ホーランエンヤ」と呼ばれるようになったと伝わります。



国宝 松江城

堀尾吉晴(ほりお よしはる)により1611年に築城された松江城。全国に現存する12天守の一つで、入母屋破風の屋根が羽を広げたように見えることから別名「千鳥城」とも呼ばれる。2015年に国宝に指定された。島根県松江市殿町1-5
アクセス:JR松江駅からバスで15分、県庁前下車徒歩で2分
お問い合わせ:TEL 0852-21-4030



松江城山稲荷神社

松江城公園内、千体もの石狐が鎮座する稲荷神社。小泉八雲(ラフカディオ・ハーン)が、松江在住の頃、大変気に入り毎日のように訪れていたという。その千体の中に一体だけ、玉を持った石狐がいて、見つけることができたなら誓願成就のご利益があるのだそう。



島根県松江市殿町449-2
アクセス:JR松江駅からバスで15分・県庁前下車徒歩で5分
お問い合わせ:TEL 0852-21-1389



阿太加夜神社

『出雲国風土記』に「阿太加夜社」と記載される古社。主祭神は、大國主命の御子である阿太加夜奴志多岐喜比賣命(あだかやぬしたききひめ)という女神様。社殿、諸建造物は元禄8年(1695)、源綱近により造営され、代々の藩主によって修造されてきた棟札が現存。島根県松江市東出雲町出雲郷588
アクセス:JR揖屋駅からタクシーで10分
お問い合わせ:TEL 0852-52-3468



神様が退屈なさらないよう 笑い楽しんでいただだけますよう 真摯に執り行われる船神事

今年で370年の歴史を積み重ねるホーランエンヤは、元来、御神霊の乗る御神船と、わずかな供船による、きわめて素朴な神事でした。では、いつ頃から、現在のように華やかな祭事になったのでしょうか。

きっかけは、文化5年(1808)のこと。折からの悪天候で雨風が激しく、馬潟村(現馬潟)の水上で、御神船があわや転覆かというような危険な状態になりました。これを見ていた馬潟地区の漁師たちは、自ら船を出して救助に向かうと、御神船に網を結びつけて引き、無事、出雲郷の船着き場までお届けしたのです。以降10年ごとに、馬潟地区に続いて矢田地区、大井地区、福富地区、大海崎地区と順に加勢。やがて、それらは五大地と呼ばれて、現在の100隻を超える大船団が形成されていきました。

では、特徴的な船上での舞についてはどうでしょう。そもそもは、御神船を助けた馬潟の漁師が、喜びのあまり權を掲げて躍ったことが始まりなのだそう。その後、幕末の頃、北前船で越後(新潟県)に行った船頭が、流行りの踊りを習って帰り仲間に教えたことから広まって、船上で披露するようになったものと考えられています。

華やかな衣装については、次のように考察されています。船団の中の花形といえ五大地が出す5隻の權伝馬船で、船の船先で勇敢に舞う劍權は、歌舞伎風の衣装に、力士の化粧まわしという出で立ちです。この扮装は、相撲人気の高かった松江藩では力士はまさにヒーローでしたし、歌舞伎は最大の娯楽のひとつ。その2つの要素が合わさって、現在の衣装になったという具合。そして、劍權とペアになる采振もまた、華やかな女形の扮装。五大地それぞれに決めごとがあり、同じ劍權と采振でも、少しずつ違いがあるのも

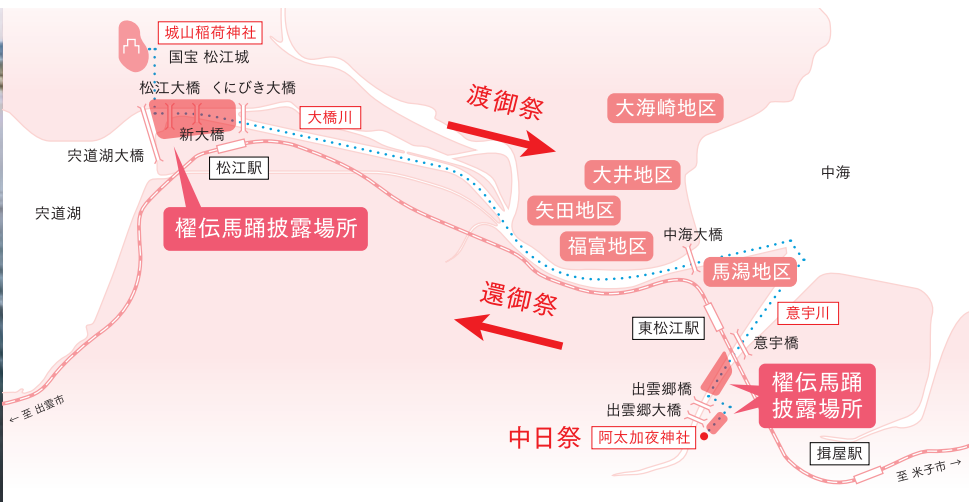
興味深いところです。

こうして、きらびやかになっていった神事ですが、そこには、神幸の道中「神様が退屈なさらないように、笑って楽しんでいただけますように」という、五大地を筆頭とする地元の人々の実に真摯な思いが込められています。また、松江は、中海・日本海を大橋川でつなぐ水運物流の拠点として繁栄してきた水の都です。こうした好条件が揃って、必然的に発展していったホーランエンヤ。10年に一度、370年間、途絶えることなく、肅々と口伝のみで受け継がれる奇跡のような神事なのです。

渡御祭〜中日祭〜還御祭 感動と興奮と 心温まる3祭日

ホーランエンヤは、松江城山稲荷神社の御神霊をお神輿に乗せ、松江大橋北詰め棧橋までの約1.5kmを陸上行進。棧橋で神輿船に乗り込むと、大挙して待ち構えていた船団に守られながら大橋川を下り、一度、中海に出て、東出雲町の意宇川を上って上陸。阿太加夜神社を目指します。その距離、約10km。この御神霊をお送りする神事は、渡御祭と呼ばれ、今年5月18日(土)に行われます。

次いで、同月22日(水)、阿太加夜神社で行われるのが、中日祭。五大地權伝馬の陸船の行列が町内を練り歩き、權伝馬踊りが披露されます。そして、同月26日(日)の還御祭で、御神霊に城山稲荷神社へとお戻りいただきます。本殿前で再び權伝馬踊りが奉納され、9日間にわたる10年に一度の神事の幕が下ろされるのです。



3月8日はサバの日
新発売
BORN IN TOTTORI
OJÔSABA
鳥取生まれの鯖入り焼

大切に手塩にかけて育てられた
鳥取生まれのお嬢サバが本当の“箱”入り!!

JR西日本がプロデュースする鳥取県岩美町で生まれたマサバ「お嬢サバ」。地下海水を使い陸上養殖することで、寄生虫が付きにくく生で食べられることが特徴です。身は驚くほど美しく、青魚特有の臭みが少なくて上質な脂が味わえます。

お嬢サバWEBサイト

<https://www.westjr.co.jp/life/profish/ojou-saba.html>



お嬢サバがこの度加工品となって新発売! 味はトマト・瀬戸内産レモン・塩&バジルの3種類。サバがしっかりと煮込まれているため、骨まで食べられ栄養抜群。手軽に本格的な味わいが楽しめます。そのまま食べてお酒のおつまみに、またお好みにパンにのせたり、サラダやパスタに和えるのもオススメ。容器のままレンジで温められるのも手軽に楽しめるポイントの一つ!

いい星シリーズWEBサイト

<http://www.westjr.co.jp/life/profish/iichi/>



[TOMATO]

相性の良いトマトを使い、コク深い味に仕上げました



[LEMON]

広島県大崎上島産レモンを使い、香り豊かに仕上げました



[SALT&BASIL]

塩でじっくり煮込み、バジルの爽やかな風味と唐辛子のピリッとした大人な味に仕上げました

各1,058円

- [取扱店] ○鳥取駅のおみやげ楽市
○米子駅のおみやげ楽市
○松江駅のおみやげ楽市



巷で話題の
「燻製」調味料

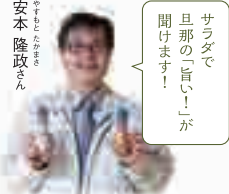
明治18年より醤油や味噌造りを手掛ける「安本産業」。醤油を知り尽くした老舗が、自信を持ってオスメするのは、燻製した醤油を使ったドレッシング。パンチの効いたスモーキーな香りが、サラダをお酒にぴったりなおつまみに変身させます。もちろんお肉や魚料理とも相性抜群。燻製ナッツにクリーミーな味わいがマッチした「くんせいナッツドレッシング」と、玉ねぎの甘みが燻製のコクを引き立てる「くんせい玉ねぎドレッシング」の2種類からお好みでお選びください。

くんせいナッツドレッシング (210ml)
くんせい玉ねぎドレッシング (210ml) 各486円

[取扱店]

- 鳥取駅のおみやげ楽市
○米子駅のおみやげ楽市
○松江駅のおみやげ楽市

安本産業株式会社
鳥根県松江市東津田町1811-1
☎0852-21-6062
<http://www.yasumoto-kk.jp>



サラダで、旦那の「旨い」が聞けます!

「まち」と「ひと」が育んだ
松江の味



純米吟醸 松江づくし (720ml) 2,160円

[取扱店]

- 鳥取駅のおみやげ楽市
○米子駅のおみやげ楽市
○松江駅のおみやげ楽市

米田酒造株式会社
鳥根県松江市東本町3-59
☎0852-22-3232
<http://www.toyonoaki.com>



やや辛口のお酒です!



暖かさ感じる湯町窯の器



福岡康介さん

福岡瑠士さん

直火・オーブン、電子レンジでの使用可能です!

英国人陶芸家バーナー・リーチ氏の精神を受け継ぎ、数多くの民芸品を作る「湯町窯」。長く愛されている「エッグベーカー」は、丸っこいフォルムと黄釉の色が可愛らしい器です。その名のお目玉焼き用として使うだけでなく、卵と一緒にハムやベーコン、ジャガイモなど、好きな食材と一緒に入れると、一味違った美味しさが楽しめます。

エッグベーカー(大) 4,158円

[取扱店]

- 松江駅のおみやげ楽市
湯町窯
鳥根県松江市玉湯町湯町965 ☎0852-62-0726



誠実な水の都の
すぐれもの



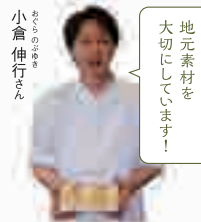
千鳥城サブレ 6枚入り 1,250円

[取扱店]

- 松江駅のおみやげ楽市
ラ・クレーム デ・クレーム
鳥根県松江市学園2-24-1 ☎0852-55-4743



松江市のケーキショップ「ラ・クレーム デ・クレーム」が作る「千鳥城サブレ」は、松江城の天守閣が描かれた、お土産にぴったりな一品。地元産の米粉を使ったサブレは、ほろほろとした食感と素朴な甘さが特徴的で、どこか懐かしい味わいです。淹れたてのコーヒーと一緒にゆつたりとティータイムをお楽しみいただけます。



小倉伸行さん

地元素材を大切にしています!



のどぐろの
旨味丸ごと
召し上がれ

山陰沖で獲れた新鮮な魚を加工する「ヤマヲ水産」。多くの人に魚をもっと手軽に食べてもらいたいとの思いから、そのままでも美味しく、骨まで食べられるよう仕上げました。上品な脂にギュッと詰まった旨味はのどぐろならではの、レンジやグリル、フライパンで焼いていただく、旨味がさらに増し、いっそう美味しく召し上がいただけます。

そのまんま食堂 のどぐろ (70g) 756円

[取扱店]

- 鳥取駅のおみやげ楽市 有限会社ヤマヲ水産
○米子駅のおみやげ楽市 鳥根県松江市鹿島町古浦601-106
○松江駅のおみやげ楽市 ☎0852-82-1358



山本源節さん

魚本来の味を引き出しました。

城下町の
風情息づくお茶



加島浩介さん

中国地方唯一の茶師七段を
獲得しました!

松江城近くに店を構える「加島茶舗」は、明治24年創業の老舗です。松江産茶葉のみを使用した「松江煎茶」は、爽やかな渋みに滑らかな口当たりが特徴。一息つきたい時に簡単に楽しめるティーバッグタイプです。自宅でも美味しく味わえるよう茶師のこだわりが詰まっています。



松江煎茶 (3g×7p) 600円

[取扱店]

- 鳥取駅のおみやげ楽市
○米子駅のおみやげ楽市
○松江駅のおみやげ楽市

有限会社加島茶舗
鳥根県松江市西茶町4

☎0852-21-3075 <http://www.e-ocha.jp>



左記マークのついた商品につきましてはJR駅構内の店舗などで取り扱っております。 ※掲載商品の金額はすべて税込表示です。

